

ゆっころ通信

社会福祉法人ゆっころ

〒301-0834

茨城県龍ヶ崎市古城 3204

電話番号 0297-85-4301

<http://yukkora.jp/>



～精神障害者地域生活の「原点」は～

社会福祉法人ゆっころ 理事長 杉江 彰

社会福祉法人ゆっころ設立準備が開始されたのは今から15年前です。その頃に、沖縄の地で精神障害者地域生活の「医・職・住」ということが強調されていました。

昔から人間の最低限の生存条件は「衣食住」と言われています。精神障害者が地域で安心して生きていくには、個人の衣食住だけでなく「医療とうまくつながっている」「働く場所がある」「仲間と住む場所がある」というのが「医・職・住」の内容です。ゆっころはこれを参考にして、働く場所、住む場所、居場所ができるだけ身近にあるような社会資源を目指してきました。

沖縄は、太平洋戦争で、国内唯一の地上戦になり、兵士だけでなく住民含め20万人が犠牲になったところです。

人間の生存条件そのものが奪われ、戦後も広大なアメリカ軍基地のために土地を奪われ、日本国憲法が適用されずアメリカ軍の直接支配を受け続けました。1972年ようやく沖縄の祖国復帰がなされましたが、いろいろ「後遺症」は今もあります。また離島も多く、病院もない島々もあります。

そんな困難がたくさんある中で、私たちのモデルになるような取り組みが開始されたのは、復帰前からの「久米島における地域医療のこころみ」からです。そこで示されている内容は、先駆的な取り組みであり、今日の問題でもあります。ゆっころの原点を教えてくれた沖縄の関係者の皆さんに深く感謝しています。

ゆっころの社会資源

室内



古城の家



ボランペの家



住む場所

居場所

わかば



ふれんず



ゆうあい
ワークイン

ともだち村



フレッシュ
グリーン

働く場所

花農場





～「シェアの場 in 茨城」に参加して～

地域活動支援センター ふれんず

猪瀬 厚

3月11日（日）茨城県社会福祉士会県央ブロック主催、茨城県総合福祉会館において研修会が開催され、ふれんずから5名参加しました。午前中は県連、家族会、各事業所からの発表がありました。家族会からは牛久精神保健福祉会（ぬくもりの会）遠藤会長より家族会の取り組み、同じ悩みを持つ家族に対し「学びあい」「支えあい」「働きかけ」の重要な3本柱の発表がありました。

当法人から杉江理事長が発表され現在の障害福祉では「居」（居場所）・「触」（人との触れ合いができる）・「充」（日常の生活で充実感がある）が大切であることの話聞くことができました。

午後からは当事者発表がありその後、花農場の多田さんがマルフク制度に関する説明を参加者の皆さんに分かりやすく説明していただき大変勉強になり充実した1日となりました。



～楽しかった大洗水族館～

地域活動支援センター わかば

大林 さおり

毎年恒例のフレッシュグリーンとわかば合同の旅行ですが、今年は大洗水族館に行きました。大洗水族館といえば旅行の行き先としては定番となっていますが、何度行っても様々な楽しみ方ができる場所だと思います。今回参加したメンバーに感想を聞いてみました。

- ・イルカとアシカのショーが迫力があつた。（Iさん）
- ・ショーでアザラシが手を振ったり拍手をしたりボールを使った芸をしていたのが印象に残つた。（Kさん）
- ・ショーの時、思いきり水をかぶってしまったメンバーさんがいたり、魚に詳しく豆知識をたくさん披露してくれた職員さんがいて、いろいろなことが印象的な旅行だった。（Mさん）
- ・楽しかった。（Kさん）
- ・食事（海鮮三食丼）がおいしかった。寒かったけれど海がきれいだった。（Mさん）
- ・旅行に行くのは何年かぶりだったのでよかった。（Mさん）

メンバーみなさん様々な感想を持たれたようですね。私も大洗水族館に行くのは久しぶりだったので、メンバーさんと一緒に楽しいひと時を過ごせました。

実は今回の旅行は本当は笠間方面に行く予定でしたが、雪の予報が出ていたので急遽行き先が変更になりました。

笠間に行けなくて残念という声も聞かれたので、次回、機会があったら是非笠間にも行きたいと思います。



～交流会を行いました～

地域活動支援センター ふれんず

猪瀬 厚



(参加者の声)

Y.Eさん

取手にあるそよかぜとふれんずで交流会をしました。私は障害を持って生まれてきました。当事者発表を行いみんなで話し合いをしました。久々に友達と逢えて嬉しかったです。今まで私はいじめられたりしましたが、11年間頑張って働きました。でも辛いこともたくさんありました。私、今大好きな人がいます。その人は、陣内孝則さんです。

N.Tさん

取手にあるそよかぜとの交流会に行ってきました。自分のことや家族のことや仕事のことを発表して、遠藤さんが最後に歌ってくれて良かったです。お昼になってそよかぜの人たちとみんなでそよかぜのランチを食べました。僕は、フレッシュグリーンのことやわかばのこと、提案している食べ物の名前のことを話しながら食べました。

～春苗生産スタート～

就労継続支援B型 花農場 島田 政人



今年の冬は、気温の低い日が多く、大雪もありました。花苗もやはり寒い時期はあまり売れません。しかし、3月になってようやく気温も上がり、花苗も売れるようになってきました。(値下げの効果の方が大きいかもしれませんが…)

昨年9月から始まったパンジー・ビオラの生産・販売は3月で終了し、いよいよ春苗の生産が本格的にスタートです。冬の間はメンバーの作業も種類が少なく、苗を植えていたポットを洗う作業がメインになっていましたが、これからは作業の種類も一気に増えていきます。

まずは種まきから始まり、土作りやポットにその土を詰める作業があります。そこに発芽した苗を移植し、その後は水やり、虫よけのために薬剤を散布、肥料が切れないように追肥する作業などをやっていきます。

この他にも良い苗を作るためには様々な作業があり、納品時期には、ピッキングの作業でさらに忙しくなります。メンバーはそれぞれの得意分野を活かせるようになり、力作業が得意な人、手先が器用で細かい作業が得意な人、同じ作業を一定のペースで続けることができる人など、春はメンバーにとってもやりがいのある季節ではないかと思えます。

花農場の花苗も、お陰様でお客様からの評判も年々良くなってきていますので、メンバーにはこの春も自信を持って、楽しみながら花苗を作ってもらいたいです。



～避難訓練を振り返って～ 地域活動支援センター ゆうあいワークイン K.Mさん



去る2月15日「花農場」と「ゆうあいワークイン」では年2回の合同避難訓練が行われました。

訓練は「ゆうあいワークイン」の喫煙室から火災が出火したという想定で、まず火災報知機が鳴り「ゆうあい」メンバーは皆作業中ではありませんでしたが、すぐにスタッフの誘導に従って屋外の駐車場に短時間で避難しました。

また「花農場」でもスタッフの迅速な対応でメンバー全員無事に避難することができました。

訓練の実施にあたっては「花農場」からは吉田氏・多田氏・島田氏・遠藤氏・工藤氏・牧野氏（初参加）、「ゆうあいワークイン」からは安井氏・国府田氏・金谷氏・佐藤氏など、スタッフ各有志、そしてそれぞれの作業所の各メンバーが参加しました。

訓練終了後には「ゆうあいワークイン」の中に各スタッフ・メンバーが集まり、「ワークイン」の安井氏の司会進行で皆今日の訓練を振り返ってみてどのような感想を持ったかディスカッションしました。

- 地震など色々なパターンを想定して訓練したい。
- 誰もが速やかに対応することができた。
- 天候によって迅速に避難できるかどうか考えたい。
- など、メンバー・スタッフ一人一人から良識ある活発な意見が出て、今回の訓練について皆真剣に向き合っている事がよく分かりました。それから、
- 非常ベルの音が「花農場」まで聞こえなかった。
- 「ゆうあいワークイン」からの連絡が遅かった。
- 「花農場」は人員が多いため、火災の事が全員に伝わるのか。
- 自転車が避難路を塞いでいた。
- といった課題点もいくつか挙げられました。
- また例外として、
- 携帯電話のバッテリーからの出火の可能性もあり、どこで火災が起こるか分からない。
- という、別の視点からの意見もありました。

避難のきまり

おさない



かけない



しゃべらない



もどらない



最後に総評として「花農場」の吉田施設長から「今回の避難訓練について皆さんから色々な意見を聞き、訓練の大切さに関心を持っている事がよく分かりました。地震や水害など、もしも災害が起こった場合にも迅速に対応できる様、今回の訓練を反映していきたいと思います。」という言葉で締めくくられ、今日の避難訓練は無事に終了しました。

そして、防災の大切さについて改めて考える機会を与えてくれた意義ある訓練でした。スタッフ・メンバーの皆様、本当にお疲れ様でした。

ゆうあい事業所一覧

| 事業所名 | ☎ | 所在地 |
|--------------|--------------|-----------------------------------|
| 本部 | 0297-85-4301 | 〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階 |
| ゆうあいワークイン | 0297-64-1335 | 〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10 |
| 花農場 | 0297-64-1393 | 〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11 |
| 古城の家 | 0297-85-4304 | 〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 |
| ともだち村 | 0297-58-5201 | 〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1 |
| ふれんず(本部) | (板橋マリーナ) | 〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま |
| ふれんず(板橋マリーナ) | 0297-58-0466 | 〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4 |
| ポランペの家 | 0297-57-0756 | 〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4 |
| 相談支援事業所マリーナ | 0297-58-3670 | 〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4 |
| わかば | 029-836-8544 | 〒305-0861 つくば市台町1-2-2 谷田部老人福祉センター |
| フレッシュグリーン | 029-875-3680 | 〒305-0861 つくば市谷田部4701-2 |